令和８年１１月定例会一般質問発言通告表

発言順序	２	議席番号	１１	氏名	岩　村　恵　美　　議員	１／１

発言項目	要旨	答弁者
１　地域医療、富士医療圏として、2040年を見据えた富士宮市立病院の将来像と、これからの医療との向き合い方について	先日、議員の呼びかけにより地域医療勉強会を開催し、富士市の「地域医療を考える市民の会」や富士市立中央病院「医師人材監」について伺い、第一線で関わってきたからこその取組や、課題を聞くことができた。私自身もずっと疑問に思ってきたことを言語化していただき、理解を深めることができた。 今回の勉強会を通じて地域医療の在り方は医療機関だけの問題ではなく、地域全体で考えていくべき重要な課題であると改めて感じた。実際に以前から市民の皆さんからは地域の医療体制に対する不安や不満の声が寄せられている。 当市は、これから富士宮市立病院が大規模リニューアル工事を予定しており、富士市立中央病院の新病院建設は、富士医療圏全体の医療提供体制に大きな影響を与えるものと考える。そこで以下伺う。 (1)　当市は、富士市立中央病院の機能強化や医療機能再編について、現在どのような情報共有や協議を行っているのか伺う。 (2)　今後の富士医療圏における富士宮市立病院をどのように位置付けていく考えか伺う。 (3)　救急医療・小児医療・周産期医療・地域包括ケア・在宅医療支援などのうち、どの機能を重点的に維持・強化していく考えなのか伺う。 (4)　当市として「守るべき医療」と「連携すべき医療」をどのように整理しているか伺う。 (5)　地域医療連携室が関与した退院支援件数について伺う。 (6)　在宅医療・介護連携相談窓口の相談件数について伺う。 (7)　昨年一年間の救急搬送のうち、医師の診断による傷病程度別の内訳（死亡、重症、中等症、軽症など）を伺う。 (8)　救急車の利用について、一般的に「入院の必要がない」とされる軽症の割合はどの程度か。また、明らかに緊急性が低いと判断されるような利用実態（いわゆる不適正利用）について、消防本部としてどのように把握、分析しているか伺う。 (9)　一次救急、二次救急、三次救急、#7119、#8000及びシズケア＊かけはしの違いや活用方法を今後市民にどのように周知し、利用促進していくのか伺う。	市　長 副市長 教育長 病院長 関係部長